

皆さんの **声** を市政に

令和6年度「市民による市政評価」

問い合わせ | 総合政策課 ☎0187-63-1111 内線233

市の取り組みをチェック 満足度・重要度は？

市では、市民の皆さんの評価や意見を市政に反映させ、協働のまちづくりをより一層進めるため、アンケート調査による「市民による市政評価」を、平成18年度から毎年度実施しています。

アンケートでは、市の総合計画の体系に基づき「産業」「出会い・結婚・子育て」「健康福祉・スポーツ」「環境・安全」「都市基盤」「教育・交流」「地域活性化・市民との協働・行財政運営」の各分野で設定した29項目について、現状に「どのくらい満足しているか(満足度)」と、今後の大仙市にとって「どのくらい重要であるか(重要度)」を5段階で評価していただきました【表1】。

また、各分野で「さらに推進すべきと考える取り組み」を選択していただき、施策の優先度を確認しました【表2】。さらには、市民の皆さんの「大仙市の住みやすさ」【図2】、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化」に関する意識調査も行いました。

市が行う個別事業への 評価・要望などを調査

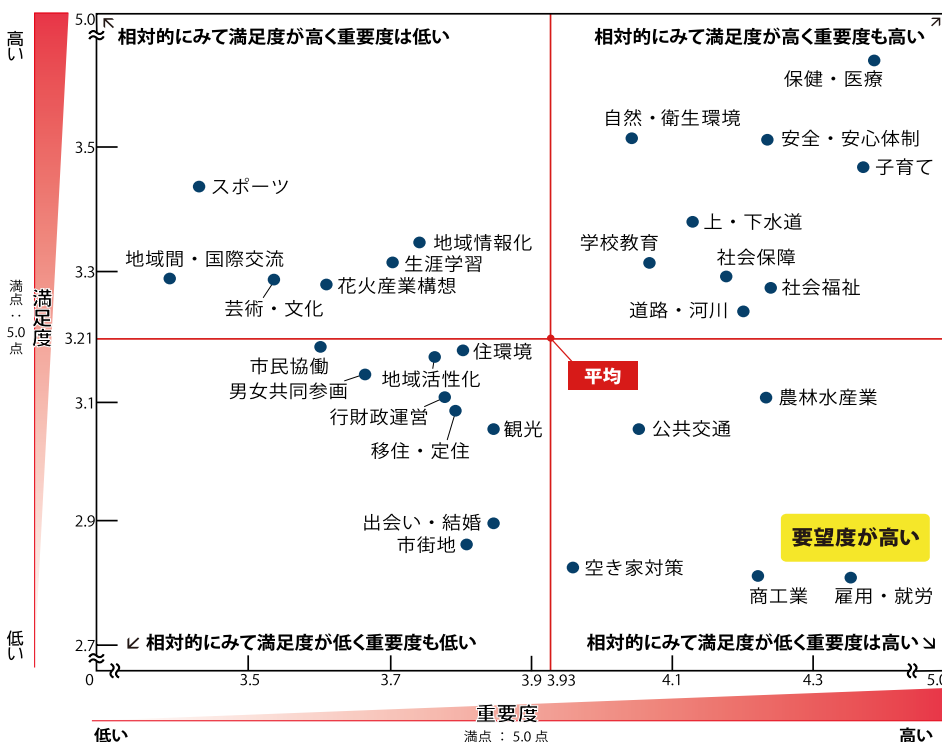
市が行っている個別の事務事業に対して、評価、要望などを伺うため、①若者チャレンジ応援プロジェクト②市内道の駅③市内スキー場の三つを対象にした「個別事業評価」も併せて行いました。詳しい結果は、市のホームページをご覧ください。

調査結果の分析から 優先課題を再確認

【図1】の満足度と重要度の関係図中、右上のエリアに位置する「保健・医療」「安全・安心体制」「子育て」などの項目は、重要度・満足度が共に高く、「大仙市の強み」として、さらに事業を推進していく必要があります。

右下に位置する「雇用・就労」「商工業」などの項目は、満足度が低いものの重要度は高い項目で、他の項目と比べて重点的かつ優先的に取り組む必要があります。特に「雇用・就労」は毎年最も要望度が高い項目となっており、市にとって最優先で取り組むべき課題といえます。

【図1】各項目の満足度・重要度の関係図



左の図1は、満足度を縦軸、重要度を横軸として29項目の分布を示したものです。図の右下にあるほど重要度が高く満足度は低いため、要望度が高い項目と位置付けられます。



◆ 回収率 / 58.9%
◆ 回収数 / 589人
◆ 調査対象 / 1000人
◆ 回答方法 / 郵送およびインターネット(無記名方式)
◆ 個別事業評価
◆ 市民による市政評価および

◆ 期間 / 5月10日から6月7日まで
◆ 調査方法および結果
◆ 協力ありがとうございました。ご回答いただいた皆さん、ご進めます。

◆ 回答いただいた皆さん、ご進めます。

◆ 市役所全体で共有し、まちづくりに活用

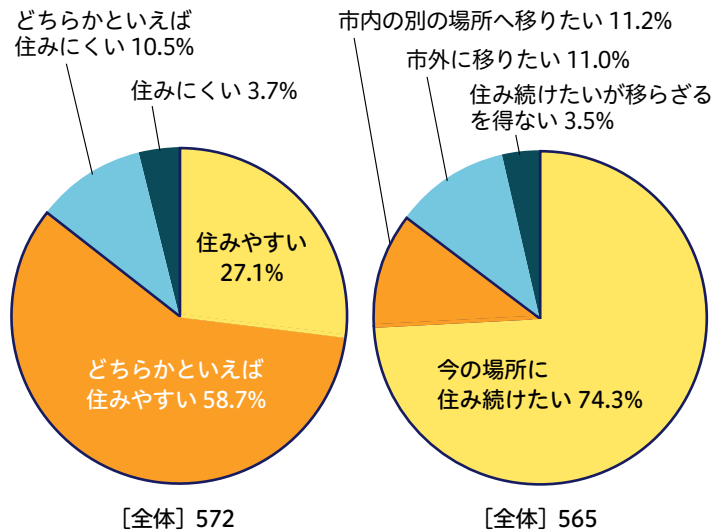
【表1】29項目の満足度・重要度

満足度・重要度は、アンケート調査で選択された点数の合計を有効回答数で割って算出しています。

項目	満足度(順位)	重要度(順位)
保健・医療	3.66(1) →	4.35(1) →
自然・衛生環境	3.52(2) →	4.04(13) →
安全・安心体制	3.51(3) →	4.25(4) →
子育て	3.48(4) →	4.35(1) →
スポーツ	3.44(5) →	3.45(28) →
上・下水道	3.40(6) →	4.13(10) →
地域情報化	3.34(7) →	3.74(21) →
学校教育	3.32(8) →	4.06(11) →
生涯学習	3.32(8) →	3.70(23) →
社会保障	3.30(10) →	4.17(9) →
地域間・国際交流	3.29(11) →	3.40(29) →
芸術・文化	3.29(11) →	3.53(27) →
花火産業構想	3.28(13) →	3.61(25) →
社会福祉	3.27(14) →	4.24(5) →
道路・河川	3.24(15) →	4.19(8) →
市民協働	3.20(16) →	3.60(26) →
住環境	3.19(17) →	3.79(18) →
地域活性化	3.18(18) →	3.72(22) →
男女共同参画	3.15(19) →	3.65(24) →
行財政運営	3.11(20) →	3.76(20) →
農林水産業	3.10(21) →	4.22(7) →
移住・定住	3.09(22) →	3.78(19) →
観光	3.07(23) →	3.85(15) →
公共交通	3.07(23) →	4.05(12) →
出会い・結婚	2.90(25) →	3.85(15) →
市街地	2.87(26) →	3.81(17) →
空き家対策	2.82(27) →	3.99(14) →
雇用・就労	2.81(28) →	4.34(3) →
商工業	2.80(29) →	4.24(5) →

前年比+0.05以上+0.15未満 → 前年比-0.05より大きく+0.05未満
前年比-0.05以下-0.15未満

【図2】大仙市の住みやすさについて



「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の割合を合わせると85.8%となっています。

【表2】さらに推進すべき取り組み(分野別・上位2項目)

分野	順位	内容	回答数
産業	1	農業の担い手確保、育成	351
	2	雇用の安定と就労環境の充実	336
出会い・結婚・子育て	1	子育てに関わる経済的負担の軽減	372
	2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	334
健康福祉・スポーツ	1	地域医療体制の充実・強化	260
	2	からだの健康づくり	244
環境・安全	1	除排雪体制の充実	346
	2	空き家の適正管理と利活用	240
都市基盤	1	生活道路の整備	267
	2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	236
教育・交流	1	生きる力を育む学校教育	304
	2	児童・生徒数に合わせた学校施設の整備	231
地域活性化・市民との協働・行財政運営	1	若者が活躍できる環境づくり	328
	2	小規模集落・高齢化集落への支援	219